

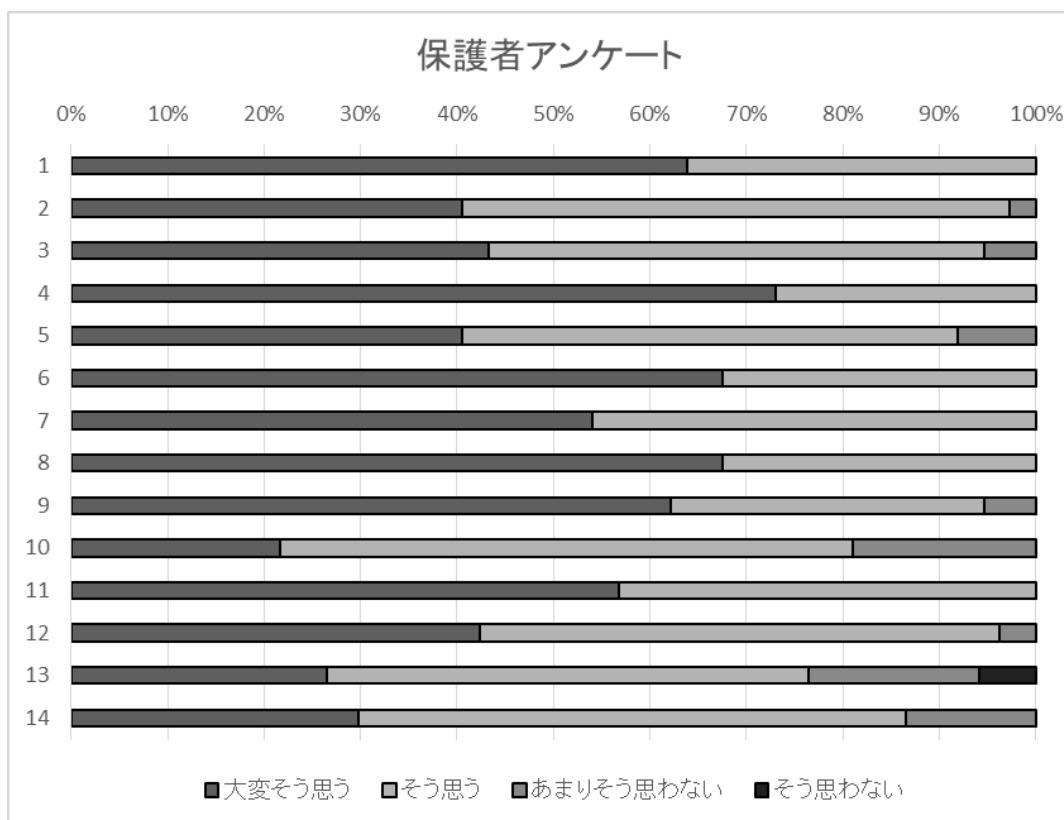
乾隆幼稚園だより特別号（後期）

京都市立乾隆幼稚園

園長 豊田 寿美夫

保護者・地域のみなさま、本校の学校教育にいつもご理解とご協力ありがとうございます。
 (1月)に実施した保護者アンケートの集計ができました。結果をお知らせいたします。

1	幼稚園は教育目標「心身ともに健やかで生き生きとした子どもを育てる」に向けての保育を行っている。
2	幼稚園の環境は、安全で子どもが豊かな経験ができるように整えられている。
3	保幼小連携・地域との連携等の取組は子どもの育ちにつながっている。
4	幼稚園には、さくらんぼ組や預かり保育等の子育て支援の取組のあることを知っている。
5	幼稚園は、お便り（子どもの姿）やホームページで活動の様子がわかるように発信している。
6	教職員は、子ども一人一人に温かいかかわりをしている。
7	教職員は、生き生きと働いている。
8	お子さんは、楽しく幼稚園に通っている。
9	お子さんには、今、夢中になっているものがある。
10	お子さんは、自分のことは自分でしようとする。
11	お子さんは、家族、友達、先生など周りの人に親しみをもってかかわっている。
12	お子さんは、楽しんで預かり保育に参加している。（利用者のみ）
13	「ノーテレビ、ノーゲームデー」の取組だけでなく、普段から親子で絵本を読むことを続けている。
14	幼稚園での出来事など、お子さんの話に共感したり対話したりする機会は多くもてている。



今年度は新型コロナウイルス感染症により、園でも新しい生活様式を考える1年でした。幼稚園では9月から午後保育も始まり、ようやく行事も感染症対策をすれば実施できるところまで来ていましたが、年を明けて再び緊急事態宣言が京都も含めて10都府県に出されました。臨時休業にはならずに幼稚園生活は送れたのですが、多くの制約があり、歯がゆい思いをしながらの年度末でした。

園として、コロナ禍でもできることは何か、工夫することでできることはないのか等々、考えながら月行事を変更しつつ1年間進んできた感じです。その中でも、登園した子どもたちは園での遊びを楽しみ、日々成長する姿を見せてもらっていたと思います。

さて、アンケートのご協力ありがとうございました。次年度に関わるCやDのついた項目を中心についてみたいと思います。

まず項目2です。プールのところで未就園児が遊んでいるというご指摘でした。露地栽培の作物や季節のわかる木々の環境やペンキ塗りの補修など安全に関わることについては通年でやってきています。上記のご指摘は主に親御さんへの働きかけかと思いますので、声掛けをしていきたいと思います。

項目3はコロナ禍で小・中学校や地域関係の取組がほぼなくなりました。ただ安全の面や裏方としての面で地域の方にはお世話になっていますし、小学校との連携は教職員同士の中では行っています。次年度、子どもの行き来できる連携が戻ればよいのですが…。

項目4はさくらんぼ組や預かり保育の認知度の事になります。在園児の保護者の皆様にはほぼ知っています。これが園児の獲得につながっていないのは、次の項目5も含めて、考えなくてはならないかもしれません。コロナ禍での子育て支援の取組があまりできなかったことも原因と考えられるので、年度後半の緊急事態宣言下では未就園クラスや園庭開放が続けられたのはまだよかったです。

項目5は、昨年の指摘もあります。休業中は意識した部分でもありますので、前期の評価では改善が見られたと集約したのですが、本園の弱いところとして、年度末ですが意識して発信できたらと考えます。

項目8は園として一番気になるところです。概ね高評価なので、これからも子どもたちが来たいと思える幼稚園を目指していきたいと思います。新型コロナウイルスで参観がしにくい、また行事が制限される中、大人はともかく子どもたちにとって幼稚園が楽しい場であることはとても嬉しい思います。

項目10が悪い結果になっています。ただ年少から年中、年長となるにつれてよくなっている傾向があることから、ご家庭で自己的ことは自分でやることを小さいころから少しづつでも取り組むことが習慣化につながるのだと思います。あいさつや早寝早起き朝ごはんや自己的ことは人でするなど、もどかしいところも多いでしょうが、待つことができるかです。

項目13です。前回と同様、絵本貸出について密を避けるため、いつでも良いようにしました。読む冊数が増えてよかったですという意見が多く聞かれる反面、Dが多いのは、貸出日がないと絵本を借りないご家庭もあるということだと考えます。次年度は良い面を残しつつ、あまり貸出を利用しないご家庭も絵本に親しむ習慣がつくような手立てを考えたいと思います。

項目14は今回も良い結果です。今年度はお家で過ごすことが多くなったからでしょうか。学齢期になっても家庭でのコミュニケーションは大切ですので、幼稚園の段階から親子の会話が日常の中にあることは素晴らしいことです。その時に、絵本の読み聞かせがあると、項目13に結び付くのではないでしょうか。